

## ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー応募申込書 (記載・提出方法)

### ○記載必要事項 (P.2~の記入フォームをご利用ください。)

1. 申込者情報 (グループで申込の場合は、参加者全員分の記入が必要です)  
氏名、学校名、所属 (学部・学科など)、学年、連絡先 (E-mail および電話)、宿泊・参加希望日
2. プランの概要
  - (1) プラン名
  - (2) プランの具体的内容
    - ① 着想点・背景(解決しようとする課題、動機・着眼した理由など)
    - ② 事業計画(記入用フォームに記載しているが、独自スタイルでの記述も可)
  - (3) ビジネスモデル・技術の新規性・独自性・優位性、技術の完成度、製品・サービスの発展性
  - (4) 市場性、収支予測
  - (5) 実現方法、実現過程、事業推進に向けた課題
3. 指導・助言を希望する項目・内容など

### ○提出期限

平成30年8月20日(水)【必着】

### ○提出方法

「記入フォーム」に必要事項を記入の上、メールにて送付ください。

宛先：[info@c-collabo.jp](mailto:info@c-collabo.jp)

件名：ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー申込

(※) ワード版の記入フォームをご利用いただけない方は、記載必要事項をメール本文等に記載 (図表は画像等を添付) いただき応募いただくことも可能です。

### ○個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、本セミナーに係る諸連絡、参加者名簿の作成、本年度のキャンパスベンチャーグランプリ (CVG) 関連情報 (審査会・表彰式など) の提供に使用します。なお、参加者名簿は講師および出席者に配布します (連絡先は、直前/当日の緊急時連絡に必要ですので必ず記入下さい。CVG 関連情報が不要な場合はその旨お知らせください)。

### ○お問合せ先

中国地域産学官コラボレーションセンター (中国経済連合会)

担当：山下、三上

T E L : 082-242-4511, F A X : 082-245-8305,

E-mail : [info@c-collabo.jp](mailto:info@c-collabo.jp)

## ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー応募申込書 (記入フォーム)

### 1. 申込者情報

(グループの場合、参加者全員分について漏れなくご記入ください。代表者を先頭に記入して下さい。)

氏名 (性別) ※先頭は代表者	学校名	所属(学部・学科など)	学年	連絡先※1	宿泊・参加希望日※2 (いずれかにチェック)
(男・女)				(e-mail)  (電話)	<input type="checkbox"/> 宿泊する (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (1日目のみ参加)
(男・女)				(e-mail)  (電話)	<input type="checkbox"/> 宿泊する (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (1日目のみ参加)
(男・女)				(e-mail)  (電話)	<input type="checkbox"/> 宿泊する (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (1日目のみ参加)
(男・女)				(e-mail)  (電話)	<input type="checkbox"/> 宿泊する (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (1日目のみ参加)
(男・女)				(e-mail)  (電話)	<input type="checkbox"/> 宿泊する (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (両日参加) <input type="checkbox"/> 宿泊しない (1日目のみ参加)

※1 e-mail 及び電話番号両方の記入が必要です。

※2 宿泊先はセミナー会場 (宮島セミナーハウス成風館) となります (男女別相部屋)。

セミナー会場に宿泊しない形でのご参加も可能です (ご自宅が近くにある方等)。

1日目のみの参加も可能です。

## 2. プランの概要

(1) プラン名：

(2) プランの具体的内容

①着想点・背景（解決しようとする課題、動機・着眼した理由などを簡潔に記述）

②事業計画 (P5の「事業計画例」を参考に、フォームに従って記述。独自スタイルでの記述も可。)

[事業目的 (使命・目標)]

[事業機会]

- ①
- ②
- ③

[経営資源の強み]

- ①
- ②
- ③

基本戦

[事業領域]

[誰に]

- ①
- ②
- ③

[何を]

- ①
- ②
- ③

[どのように]

- ①
- ②
- ③

具体化

[どこから]

- ①
- ②
- ③

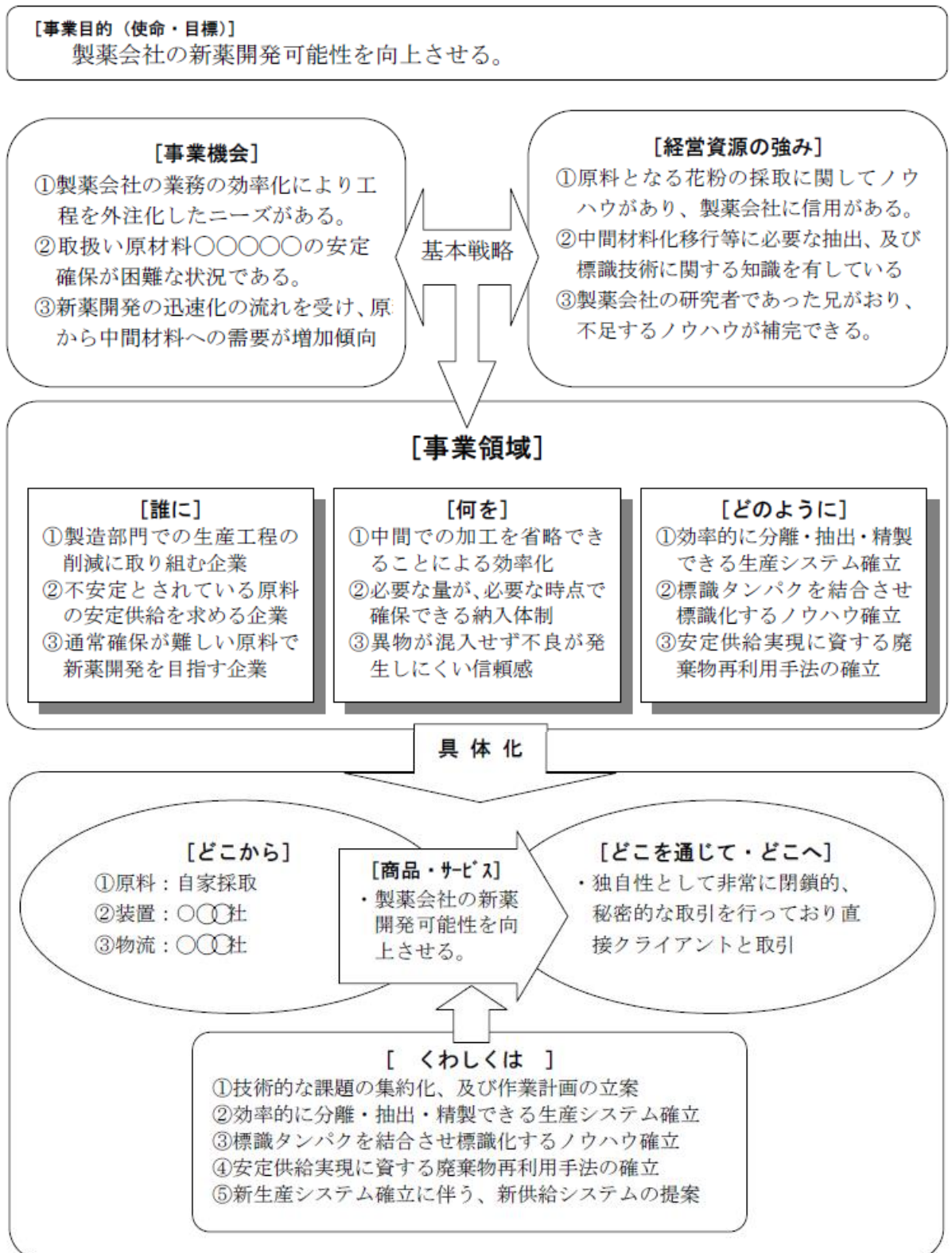
[商品・サービス]

[どこを通じて・どこへ]

[くわしくは]

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

[事業計画書の例]



出所) 松重監修、三枝・竹本編著「アントレプレナーシップ教科書」、中央経済社、(2016)p211

- (3) ビジネスモデル・技術の新規性・独自性・優位性、技術の完成度・発展性・将来性  
(技術の科学的根拠・信頼性・課題、サービス・製品の品揃えや発展性などについて記述)

(4) 市場性、収支予測

(これまでの市場調査結果とニーズ予測、売上・開発費・人件費 などについて記述)

(5) 実現方法、実現過程、事業推進に向けた課題

(自分の回りの資源(技術・人)を活用したチーム作り、実現に向けたステップ、課題などを記述)



3. プランの完成度を上げるため、指導・助言を希望する項目・内容など